

副腎腫瘍における感受性遺伝子に関する研究

1. 研究の対象

2005年4月から2023年3月31日までに当院で副腎腫瘍に対して副腎摘除術を受けられた方
千葉大学クリニカル・バイオバンク事業への試料の提供と将来の試料解析研究での利用について
同意が得られた方

2. 研究目的、方法

副腎腫瘍は、悪性腫瘍である副腎癌と良性腫瘍である褐色細胞腫、原発性アルドステロン症、クッシング症候群に大きく分けられます。副腎癌の発症頻度は、きわめて稀である一方予後も非常に良好でないことが知られています。副腎癌や良性腫瘍の治療はいずれも手術療法が第一選択です。しかし、良性腫瘍の両側に発症した場合や副腎癌の転移に対しては薬物治療にて経過をみますが、腫瘍が増大し治療に難渋することがあります。

一般的にがん細胞では、非がん細胞と比較して、過剰に発現している遺伝子変異や蛋白があることが知られています。正常副腎と副腎腫瘍の間で、遺伝子変異などを比較し、発症の原因遺伝子を明らかにし、発症予防や新しい治療を開発していくことが期待できます。本研究の目的は、通常の外來検査の採血と同様に10ml採血、並びに副腎腫瘍摘除時に検体の一部を採取させていただきます。採取した血液や検体からDNA, RNA, 蛋白を取り出して、上記を研究、解析させていただきます。

3. 研究に用いる試料、情報の種類

試料: 血液、副腎腫瘍摘除術時に採取した副腎組織等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

千葉大学医学部附属病院泌尿器科助教 坂本 信一
〒260-8670 千葉市中央区亥鼻 1-8-1
電話:043-222-7171 内線 5343(泌尿器科学教室)

研究責任者:

千葉大学大学院医学研究院泌尿器科学 市川智彦

研究代表者:

千葉大学大学院医学研究院泌尿器科学 市川智彦